SITE SURVEY REPORT

現地調査報告書

PROACT PEST CONTROL
プロアクトペストコントロール
合同会社ドドド　TEL 080-5408-7795　proact@dododo.co.jp

この書面は見本です。実在の店舗・案件ではありません。お客様にお渡ししている現地調査報告書の様式と記載項目をご覧いただくために、架空の店舗で作成しています。実際の報告書には、確認した箇所ごとの写真が入ります。
プロアクトペストコントロール（合同会社ドドド）／ proactpestcontrol.com

お客様名	見本商店 御中 居酒屋 みほん（架空の店舗） 店長 見本 様	**報告日**	2026年〇月〇日
所在地	東京都〇〇区〇〇 1-2-3（架空の住所）	**調査日**	2026年〇月〇日
業種・店舗	飲食店（居酒屋・1階 客席／地下1階 厨房・倉庫）	**調査員**	西村
対象	ネズミ	**調査方法**	目視・ライトによる確認、および点検ミラーでの確認

1. ご相談内容と調査の範囲

ご相談内容	「閉店後の厨房で、床にフンのようなものが落ちていた。姿は見ていない」とのご相談をいただきました。
調査範囲	建物外周／1階 客席・レジまわり／地下1階 厨房・倉庫・トイレまわり

2. 総合所見

1. **侵入口は1か所ではありません。**建物外周の配管まわり、地下厨房の配管貫通部、倉庫の壁の開口の3系統がつながっています。**一部だけを塞ぐと別の開口へ経路が移るため、まとめて閉塞します。**
2. **いちばん大きい開口は、倉庫の壁にありました。**前の設備を撤去した跡がそのまま残っています。物が積まれていて壁が見えない状態だったため、荷物を動かしてから確認しています。
3. **フンが見つかった厨房は、通り道であって巣ではないと見ています。**巣は、壁の中か天井裏にある可能性が高いです。目視できない範囲については、施工時に追加で確認します。
4. **対処の方針：**確認した開口をまとめて閉塞したうえで、店内に残った個体の捕獲を行います。閉塞と捕獲はどちらか一方では効果が出にくいため、同時に行います。

3. 確認箇所の一覧

No.	場所	確認した状況（要約）	優先度
1	建物外周｜給排水管の根元｜壁との取り合い	配管が壁・土間に取り合う部分のモルタルが欠けて開口	高

2	建物外周｜勝手口のシャッター下端	シャッターと床の間に隙間。戸当たりのゴムが摩耗	中
3	地下1階 厨房｜シンク下｜配管の壁貫通部	配管が壁を抜ける部分に隙間。周囲にフン	高
4	地下1階 厨房｜ガス台上の開口	設備の取付けで欠き込まれた壁の開口	中
5	地下1階 厨房｜天井の点検口	点検口のふたに歪み。天井裏の状況を確認	低
6	地下1階 倉庫｜壁の開口｜設備の撤去跡	前の設備を撤去した跡が開口として残る。今回いちばん大きい	高
7	地下1階 倉庫｜配電盤のケーブル引き込み部	盤の中から壁の中へ抜ける開口	中

高 侵入口・隠れ家として機能しており、最初に閉塞する箇所　中 経路になり得るため、高とあわせて施工する箇所　低 点検・軽微な補修で足りる箇所

4. 確認箇所の詳細

これは見本です。実際の報告書には、確認した箇所ごとに調査当日の写真が入ります。店舗の外観や、お客様・スタッフの方が特定できる写真は掲載しません。

建物外周

1　給排水管の根元｜壁との取り合い　高

確認した状況

配管の根元で、壁と土間の取り合いが欠けて開口しています。周囲にこすり跡があり、使われている経路と判断しました。

推奨する対処

閉塞します。

2　勝手口のシャッター下端　中

確認した状況

シャッターを閉めた状態で、床との間に隙間が残ります。ネズミは体の柔らかい動物で、頭が入る隙間があれば通ります。

推奨する対処

閉塞します。シャッターの開閉を妨げない形で処置します。

地下1階 厨房

3　シンク下｜配管の壁貫通部　高

確認した状況

配管が壁を抜ける部分に隙間があります。下にフンが落ちており、ご相談いただいた場所と一致します。

推奨する対処

配管を残したまま、周囲を閉塞します。

4　ガス台上の開口　中

確認した状況

設備の取付けのために欠き込まれた開口が、壁の内部につながっています。

推奨する対処

閉塞します。

5　天井の点検口　低

確認した状況

点検口のふたに歪みがあり、天井裏を確認しました。断熱材が荒らされた跡はありません。現時点では移動経路になっていないと見ています。

推奨する対処

今回は閉塞せず、次回の点検で状況を確認します。

地下1階 倉庫

6　壁の開口｜設備の撤去跡　高

確認した状況

棚の裏の壁に、前の設備を撤去した跡の開口が残っています。今回確認した開口の中で**最も大きく、最も優先して塞ぐべき箇所**です。荷物を動かすまで見えていませんでした。

推奨する対処

閉塞します。

7　配電盤のケーブル引き込み部　中

確認した状況

配電盤の中は配線のためにわざと開けてあり、そこから壁の内部へ抜けられます。

推奨する対処

通電と点検を妨げない形で閉塞します。

5. 今後の進め方

1 防鼠施工（閉塞）

本報告書に記載した開口・隙間を閉塞します。配線・配管は残したまま周囲を密閉します。

2 捕獲

出入口を塞いだあと、店内に残った個体の捕獲を行います。

3 経過確認

新しい痕跡（糞・かじり跡・足跡）が出ないことを確認して完了とします。完了後は頻度をお客さまと決めて定期メンテナンスに入ります。

> **施工の日程は、定休日や営業時間を伺ったうえでご相談のうえ決定します。**

閉塞に使用する資材　板金・パンチングメタル・防鼠金網・コーキング材・ビス等

お客様にお願いしたいこと

- 食材・生ごみは蓋付きの容器に入れ、閉店時に床へ残さないでください。
- 段ボールや紙類は床に直置きせず、早めに処分してください。巣材と隠れ場所になります。
- 新しいフンやかじり跡を見つけたら、日時と場所を控えておいてください。
- 什器や荷物の移動は当社でおこないます。

本報告書は現地での目視調査にもとづく所見です。壁内・天井裏など目視できない範囲については、施工時に追加で確認する場合があります。お見積りは別紙にてご提示します。

お問い合わせ：プロアクトペストコントロール（合同会社ドドド）　担当 西村　TEL 080-5408-7795　proact@dododo.co.jp